

No	基本目標	環境指標	基準年（H22）	達成目標（H29）	実績値	担当課	評価
5-1 ごみを減らし、リサイクルを進める							3
48	5-1	一人1日当たりのごみ排出量	841g 853g	783g 790g	796g	環境課	↑
49		フリーマーケット出店数	276店舗	266店舗/年の維持 (266店舗は、18年度~22年度の平均値)	260店舗	環境課	↓
50		「不用品登録制度」の年間利用件数（※成立した件数）	29件	40件以上/年	28件	町民窓口課	↓
51		リサイクル率 (総資源化量/総排出量)	22.2%	34.3% 31.5%	28.4%	環境課	↑
52		焼却灰発生量	1,753 t/年	1,512 t/年	1,699 t/年	環境課	↑
5-2 省エネルギーを進め、低炭素な暮らしをする							4
53	5-2	町役場庁舎の電気使用量	782Mwh/年	711.6Mwh/年以下 (毎年1%以上の削減)	605 Mwh/年	総務課 環境課	○
54		公共施設の床面積当たり電気使用量	46.19kwh/ ㎡・年	42.03kwh/㎡・年 以下 (毎年1%以上の削減)	41.3 kwh/㎡・年	各課 環境課	○
55		町の公共施設における自然エネルギー利用施設数	5箇所	現状より増やす	10箇所	環境課	○
56		太陽光発電システム導入件数 (町補助による累積件数)	53件	毎年20件以上の累積	401件	環境課	○
57		町役場（本庁舎。分庁舎、東分庁舎）のCO2排出量	344 t	313 t/年 (毎年1%以上の削減)	251 t	環境課	○
58		町役場（本庁舎。分庁舎、東分庁舎）のCO2排出量 ※床面積当たり	49.1kg/㎡・年	床面積当たり 44.6kg/㎡・年 (毎年1%以上の削減)	35.6 kg/㎡・年	環境課	○
59		上水使用量	6,548千㎡	現状以下の維持	5,976千㎡	環境課	○
60		公共施設における雨水利用施設割合	17.5% (10/57箇所) ※修正	現状より増やす	18.5%	下水道課	○
61		雨水貯留施設設置助成件数	5件/年	30件	25件	下水道課	↑
5-3 オゾン層保護や酸性雨の防止に配慮する							3
62	5-3	オゾン層保護や酸性雨などに関する情報提供件数	2回	現状より増やす	3回	環境課	○

⑤【資源・エネルギー、地球環境】 エネルギー・水・ものを大切にしたい地球環境にやさしいまち

基本目標5-1 ごみを減らし、リサイクルを進める							基本目標5-1の総合評価	
環境指標	基準年(H22)	達成目標			実績値	進行管理担当課	評価(4~1)	3
		H26	H29	H32	H27			
一人1日当たりのごみ排出量	841g	※ 807g 820g	※ 783g 790g	※ 760g	796g	環境課	基本目標に対する評価の説明	
フリーマーケット出店数	276店舗	266店舗/年の維持 (266店舗は、18年度~22年度の平均値)			260店舗	環境課	【環境課】 ごみの減量化・資源化に関する意識啓発等を積極的に行い、去年に比べ一人1日当たりのごみ排出量は28g減少し、リサイクル率については1.7%の上昇となった。しかし、焼却灰の発生量が上昇した。	
「不用品登録制度」の年間利用件数 (※成立した件数)	29件	40件以上/年			28件	町民窓口課	【町民窓口課】 登録数の減少に伴い、成立数も減少となった。	
リサイクル率 (総資源化量/総排出量)	22.2%	※ 29.1% 28.0%	※ 34.3% 34.5%	※ 35.7% 35.0%	28.4%	環境課	★施策の取組方針や環境指標の妥当性 (施策や取組方針の見直しが必要な場合のみ理由を記載)	
焼却灰発生量	1,753t/年	1,577 t /年	1,512 t /年	1,443 t /年	1,699t/年	環境課		

※前期：H24~H26、中期：H27~H29、後期：H30~H32 【凡例】 ▲：検討着手、□：取組着手、○：取組継続、◎：取組完了

※一般廃棄物処理基本計画決定に伴い、一部数値の修正がありました。

※毎年評価をし、3年ごとに施策の取組方針の見直しが必要か検討します

施策の体系	施策の取組方針	施策の概要	施策の実施方針			取り組み状況と今後の方向性	評価	担当課
			前期	中期	後期			
◆ (2) 施策の取組 ごみ発生の抑制	家庭での生ごみ減量化を推進します	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみの水分を減らす取組みの推進 電動式生ごみ処理機、コンポスター、リサイクルボックスの購入補助制度による生ごみの減量化 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度よりキエーコの斡旋販売を開始した。電動式生ごみ処理機やコンポスターの購入補助制度などと合わせて、今後も生ごみの減量化に取り組んでいく。 ゴミ野ゲンソウ見聞録において、キエーコを周知した。 家庭から排出されるごみや資源物の多くは可燃ごみで、その60%は水分であることから、ゴミ野ゲンソウ見聞録において生ごみの水を切るよう周知、啓発した。 	評価：3	環境課
	学校でのごみ減量化を進めます	<ul style="list-style-type: none"> 給食生ごみの少量化対策 牛乳パックのリサイクル 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 日々の給食指導において、残さず食べるよう指導するとともに、栄養士、調理員が献立等の工夫を行い、残食率を減らす取組みを行っている。 寒川町食育推進担当者会において、栄養教諭を中心としたネットワークによる食育推進を図り、各校での残さずよく食べる指導の推進を図っている。 平成22年より牛乳パックのリサイクルに取り組んでおり、引き続き取り組んでいく。今後も給食残渣の減量化やゴミの減量化に取り組んでいく。 	評価：3	学校教育課
	マイバッグの利用について啓発を進めます	<ul style="list-style-type: none"> マイバッグ持参運動の推進 商店街、スーパー、コンビニへのレジ袋削減への働きかけ 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 12月の温暖化防止月間に寒川、藤沢、茅ヶ崎の2市1町で実施している湘南エコウェアブにおいて作成したエコバッグを配布し、レジ袋削減の啓発活動を実施した。 	評価：3	環境課
	ごみの減量に関する情報発信を進めます	ごみの減量やごみになりやすい製品の利用についての普及啓発	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙やゴミ野ゲンソウ見聞録による周知啓発を実施した。 リサイクルセンターにおける地元自治会、一般団体などに向けた説明会などを実施した。 	評価：3	環境課
	適切なごみの出し方や、集積場の適正管理について啓発を行います	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別方法、収集日程等の周知 ごみ集積場の適正管理の啓発 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 収集日程表に加え、平成24年度から「ごみと資源の正しい分け方・出し方」の冊子を作成し、分別方法や分別早見表を載せる事により、住民に対して分かりやすく、周知を行った。またゴミ野ゲンソウ見聞録の発行により即時性の高い啓発を実施した。 	評価：3	環境課